日本IOMクラス協会　第１４回競技会　参戦記

池松靖之

２０２２年4月２９日（金）～5月1日（日）の3日間、第１４回競技会が静岡県磐田市竜洋Ｂ＆Ｇ 海洋センターしおさい湖の水面で開催されました。１日目よりGWに当たるため、私は前日から現地入りし磐田駅前のホテルに３連泊しました。出場選手は地域別に関東３名、中部３名、西日本４名の計１０名となりました。

３日間のレース概要は以下、１、３日目は雨天のため一部中止となりましたが、Ａ、Ｂリグともにバウ沈ギリギリまで風があがり合計２９レース（捨てレース4）を楽しめました。東北東と南東の風では、別々の水面でのレースとなりました。（下図参照）

１日目	東北東	Ｂリグ	６レース	午後雨天のため１２時頃まで
２日目	東北東	Ａリグ	２レース	微風ののち風向き変化
	南東	Ｂリグ	１２レース	バウ沈ギリギリまで風が上がる
３日目	東北東	Ａリグ	９レース	バウ沈ギリギリまで風が上がる、午後雨天のため１３時頃まで
		合計	２９レース	

ＫＡＮＴＵＮ2を入手して早３年が経とうとしています。ようやく平尾さんや岡田さんの背中が見えて来たと思っていたら、同じK2を手にした山脇さんが登場、すでに過去２連覇されているのです。そこに若手のハ木さんもメキメキ実力をつけてきている・・・。２日目を終了した時点で優勝を意識し始めましたが、３日目最初のレースでフォアステイが切れリタイアした時には「やっぱりダメか・・・」と半ばあきらめていました。

ところが、表彰式で結果を聞いてびっくり、辛くも１ポイントの差で山脇さん（２位）を振り切っていました。なるほど、「３大トラブルの点数」をすべて捨てレース内で賄えたことが大きかった。「２日目ゴミ拾い　９ｐｔ、フィッチマーク絡む　９ｐｔ、３日目フォアステイ切れ　１１ｐｔ」がすべて帳消しとなったのです。もう一つの勝因として、２日目のＢリグレースが好調であったことが挙げられます。ＫＡＮＴＵＮ2自体強風が得意な艇なのですが、加えて最近フリー（ランニング）の走りがちょっとわかってきたような気がしてます。ＩＯＭ以外のＤＦ95での走り込みが活かされてきたのでしょうか。また今回は、松村さんのＳＥＤＩＣＩも好調。１、４ 位が関東勢、２、３位が中部勢と、ようやく登録艇数第一位の関東の面目躍如です。

最後になりましたが、大会を運営、サポートしていただいた室川氏、岩田氏、ならびにJSAF の中嶋氏、落合氏に心から御礼を申し上げます。また３日目レース後の中嶋氏、落合氏による「ルール講習会」は大変為になりました。有難うございました。